

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 若久福祉の里作成日: 平成 30 年 6 月 1 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員の頑張りや利用者との関係作りや家族対応、地域との関わりが上手いっているが、次の世代の職員の育成や処遇改善にも取り組んでいく。	職員の経験年数や介護力に応じて、外部研修に派遣し、介護の知識や技術の向上を目指し、職員全体の質の向上に繋げていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	要介護1、2の利用者が多いため、職員配置を工夫しながら、外出の機会を増やしていく。	外出レクリエーションの担当者を決めて、外出レクを企画し、ボランティアや家族の協力を得て、利用者の生きる力を引き出す外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。